



みどりの風

学校だより【No. 4】
令和6年6月28日
匝瑳市立須賀小学校

今年もプールの季節がやって来た!!

6月13日（木）のプール開きに間に合うように、5, 6年生でプール掃除を行いました。今年は、梅雨入りが遅かったため、天候の心配をせずにきれいに掃除することができました。学校のために働いてくれる5, 6年生の姿は、いつも下級生のお手本となっています。素晴らしい！



こんなにきれいになりました！

気持ちいいね～



初めての水泳学習に
ドキドキ、わくわくの1年生
2年生、よろしくね！

6年生は
最後のプール
だね…



プールは最高！
今年の目標は…



命を大切にするキャッシュペイ

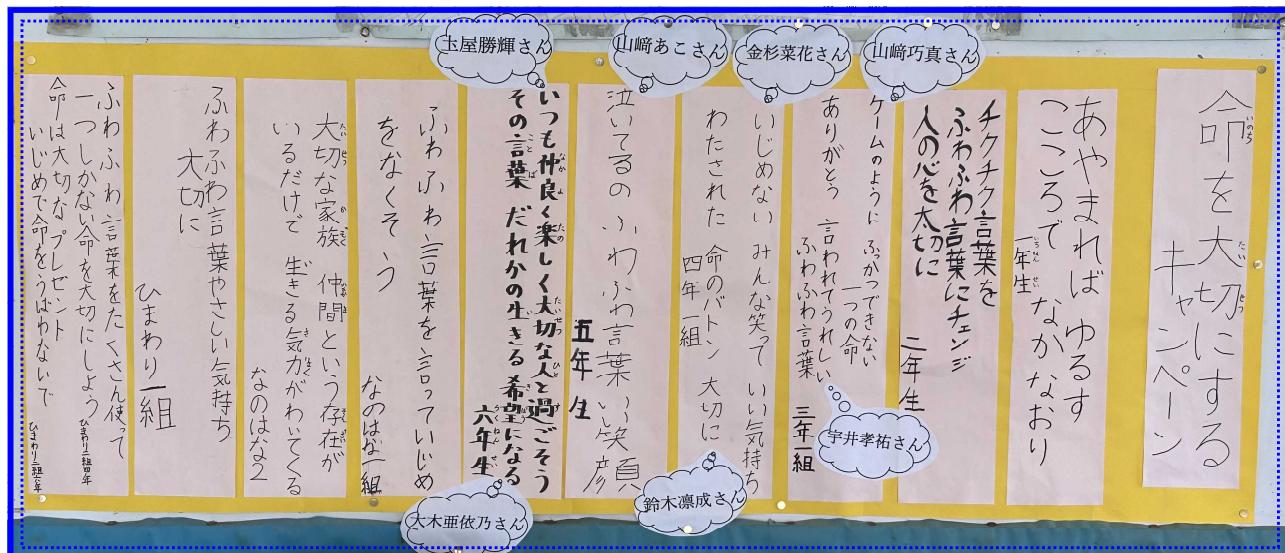
6月の全校集会において、校長から「自分の命も友達の命も大切にすること」＝「いじめは絶対にしてはいけない！許さない！」という話をしました。

低学年の子供たちにも理解してもらうために、身近な話題として、名札の安全ピンで指を刺してしまった経験があるか手を挙げてもらいました。すると、ほとんどの児童が経験しており、「チクッと刺さって痛かった」という言葉が返ってきました。その時の経験を頭に留めながら、様々な場面を想定して話を進め、子供たちにもその時の気持ちを考えてもらいました。

- ・自分の机やノートに勝手に落書きがされている →嫌がらせ
 - ・失敗や間違えたことを笑う →ばかにする
 - ・特定の友達から逃げたり、一人ぼっちにする →無視・仲間はずれ
 - ・仲良く遊んでいるふりして叩いたり、蹴ったりする →暴力
 - ・友達に向かって、中指を立てたり親指を下に向けたりする →挑発
 - ・「ばか」「死ね」「きもい」などと言う →悪口・言葉の暴力
 - ・友達のしゃべり方や動き方をまねする →からかい

これらの言動一つ一つは、指に針が刺さるのと同じくらい、心にチクッ！チクッ！と刺さっていき、次第に心が壊れたり、学校に行かれなくなったり、最悪は命を落としてしまうこともあることを真剣に話しました。ふざけているつもりでも、相手がいじめられたと感じたら、それは、もういじめになってしまうということも話しました。また、それを知っているながら近くで見て見ぬふりをしていた人もいじめている人と同じであることも伝えました。ふざけて遊んでいるつもりが、いつしかいじめに変わってしまうことがあります。

お互いを思いやり、誰に対しても優しくできるそんな温かい学校
であります。もし、お子様のことや
ご心配なことがありましたら、遠慮なく担任や
学校へお知らせください。



各クラスで考えた「命を大切にする標語」です。
授業参観の際、ぜひご覧ください。昇降口に掲示中！